

## 令和5年度第2回新BOP運営委員会 質問・意見一覧

### (1) 新BOP学童クラブにおける長期休暇中のデリバリー弁当の実施状況について(資料1)

NO	質問内容	回答
1	保護者の希望で始まった長期休暇中のデリバリー弁当であるが、区の事業として行うのであれば利用者の評価などもして欲しい。現在導入しての保護者、子ども、職員からの感想など把握しているなら教えて欲しい。	どのように把握をしていくのか等について、今後検討してまいります。
2	シャシヨクラブ以外の業者も今後考えていくのか方向性を聞きたい。	シャシヨクラブは、61校配布できることを前提にプロポーザルで選定しております。今後の状況をみながらになるかと思いますが、現時点では1社の予定です。
3	保護者からの要望で実施件数が増えていることから、働く親としては有り難い取り組みなのだと思います。学校給食同様に栄養バランスが取れているお弁当なのか？アレルギー対応のお弁当もあるのか？気になりました。	栄養バランスについては、児童向けにメニュー等の工夫が見られます。アレルギーについては対応をしております。
4	このデリバリー弁当は その新BOP学童クラブの全員が希望してお弁当が配布されているのでしょうか？(その中にお弁当持参者いないのですか？) デリバリーお弁当とお弁当持参者とフレキシブルに対応を願う。	希望者のみの配布になっており、持参のお子さんもいらっしゃいます。
5	食品のアレルギー対策は、どうなっているのでしょうか？	アレルギー対策はしていません。その旨、保護者に周知の上、希望の方が申し込んでいます。
6	お弁当の種類は、いくつかあるのですか？	1日、一種類です。
7	区のサポートが入る事で保護者の負担軽減につながると考えられ、よい取り組みだと思います。 公募型プロポーザルにより、よりよい事業所が選定されるとよいと思うが、「保護者が選定事業者以外の事業所を希望する場合」があるとすれば、どのような理由が出てくるのか、気になります。	保護者が希望の事業者を導入したい場合は、保護者が主体となり進めていただいています。
8	お弁当に関して、全員がたのむわけではなく希望者のみと言うことですが、 1食¥600円高いのではないのでしょうか？家庭的に負担が大きく頼めない家庭が出てくる心配はありませんか？それにより頼めない家庭が出たりして子供にストレスが掛かることが無いように。みんなが同じような物の提供が出来ればと思います。	お弁当のお値段については、材料費の高騰等さまざまな背景を踏まえて事業者で決定している金額になります。金額込みで希望者の方にはご判断いただいております。

### (2) 新BOPにおける放課後健全育成業務にかかる労働者派遣事業の実施状況について(資料2)

1	非常勤職員の欠員状況が慢性的であったので、画期的な一歩だと思う。事業を開始してからの手ごたえを教えてください。	8月より導入して、現在40名以上の派遣職員が新BOPで勤務しており、人員の確保に確実に繋がっています。また、派遣職員のサポートには事業者のコーディネーターが巡回や面接等で対応する等、継続して勤務できるような工夫もしています。
2	子どもの安全確保のためにも労働者派遣による人材確保は必要だと思いますが、単に人数確保にならない様、適した人材を採用し、研修などのサポートもお願いしたいと思います。	派遣職員については、指導員と同様の研修が受講できるようにしています。また、各事業者のコーディネーターがさまざまな点でサポートにあたり同時に必要な指導も行っています。
3	区において指導員の十分な確保が困難なことから労働者派遣による人材確保は派遣会社を利用するのは画期的な面もあると思ったが。 どこの派遣会社からと決まっているのかそれはどこの派遣会社ですか？	派遣事業社はプロポーザルで選定したシグマスタッフ、アスカ、明日香の3社が入っています。
4	区としての採用方法、研修などはどのようにされているのでしょうか？ 派遣会社に要望(こういう方)を伝え、派遣会社に採用はらせているのですか？	指導員と同じ研修を受講しています。採用については、派遣会社が行っていますが、新BOPへの配置については、児童館長、事務局長、児童指導が事前に派遣職員との面談を行い、配置の可否等について調整をした上で配置しています。
5	保護者から考えると、指導員の質が気になるのではないのでしょうか？	質の確保については、研修等でサポートをしていることに加えて、派遣会社のコーディネーターが新BOPからの相談等を踏まえ、必要に応じて、面談、指導等をしております。
6	実施して半年ですが、実際の現状報告、現場の声を聞きたい。	現在、40名以上の派遣職員を配置しております。派遣職員の中には新年度に向けて、採用面接を受けて新BOP指導員になった職員もおり、人員の確保につながっています。新BOPにアンケートを実施した結果、様々な課題等の指摘はあるものの、全体としては肯定的に受けとめていただいていると認識しています。
7	派遣指導員の性別・年齢を聞きたい。また、すぐに辞めてしまう人いるのでは？なかなか指導員の仕事の内容がわかりにくいのでは？と思いました。	性別、年齢等については、個人情報になるので公表はしていません。指導員の仕事については新BOPでも指導員の新規採用と同様、丁寧に指導をしていることと、コーディネーターが面談等をしてサポートしています。
8	区としてはこれにより人材確保ができていますと考えられていますか？	区の採用のみであったこれまでと比較して、人材確保が進んでいると考えています。
9	区の採用でまかなうのが理想だと思いますが、やむを得ないと思います。	人材不足を補う方策であり、ご理解賜りたくお願いいたします。

(3) 新BOP学童クラブの利用手続きに係る電子申請の導入について (資料3)

1	入会申請に関しては、保護者と職員が直接対面で話ができる貴重な機会でもあったが、児童数増加に伴い、保護者、職員の負担軽減の意味でやむを得ないと感じている。 入会前に保護者と職員が話ができる場を意図的に作ってはどうか。(就学前健診の際に新BOP学童クラブの見学をアナウンスしている学童クラブもあるようだが、全部の学童クラブで実施している事なのか?)	令和6年度の4月より入会についても電子申請を始めていきますが、引き続き紙での申請も併用していきます。ご指摘のとおり、入会申請を提出いただく際に、職員と保護者とで話ができる機会にもなっていたので、電子申請が進んで行く中で状況をみながら工夫してまいります。また、入会説明会はこの新BOPでも実施しており、職員と保護者が対面できる良い機会なので今後も継続していきます。就学前の学童クラブ見学は基本的にどこの学童クラブでも行ってまいります。また、ご希望に応じて、事前の施設見学等にも対応しております。
2	時代に沿った方法で、かつ、電子申請出来ない方への配慮もあり良いと思います。	ありがとうございます。今後もさまざまなニーズに応えながら進めてまいります。
3	早く世田谷区全域での導入ができるようにしていただきたいと思います。	電子申請については、世田谷区の新BOP学童クラブ全域について対応しております。
4	よい方向だと思います。	ありがとうございます。今後もさまざまなニーズに応えながら進めてまいります。
5	電子申請は賛成です。 手続きの事務手続きの軽減、迅速な対応だと思います	ありがとうございます。今後もさまざまなニーズに応えながら進めてまいります。

(4) 区の補助事業による民設民営放課後児童クラブの整備について (資料4)

1	人口推計(6~8歳)では毎年500人ずつ減少していく予想となっているが、この根拠となるデータや分析を伺いたい。 以前も少子化で子どもの人数減少を予測していたが、予測に反して増えた経験(その結果大規模校が増えた)があるので。	将来人口推計については他所管で公表したデータを活用しております。最新データは令和5年7月に公表されておりますが、令和4年当時と比べ、大きな乖離は見られませんでした。 ただし、放課後児童クラブのニーズに関しては、保育ニーズと同様に、共働き家庭等の増加の影響を大きく受けます。各家庭の養育状況は、平成25年は保育園に預ける世帯、幼稚園に預ける世帯共に30%でしたが、令和5年になると、保育園50%、幼稚園20%と、割合の変化が非常に大きくなっており、共働き世帯の増加傾向が顕著になっていることが分かります。 人口推計に関するデータの分析については、以下、世田谷区ホームページに資料がまとめてありますので、ご参照ください。 【参考】世田谷区将来人口推計 <a href="https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kusei/001/003/010/d00160817.html">https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kusei/001/003/010/d00160817.html</a>
2	12月に応募要件を拡大し「5歳までの保育・教育を行う認可保育所、又は児童福祉施設として法的に位置づけられている認定こども園のいずれかを3年以上運営している法人」と拡充したが、その反応はどれくらいあったのか?	12月に応募を開始してから、複数の事業者より物件相談があったものの、整備地や物件の条件が合わず、現時点で提案に至るものはありません。本募集要項から、通年で物件相談をお受けすることとしており、現在も次期審査に向けた相談はいただいております。なお、相談してきている事業者で、要件を拡充したことにより応募可能となった事業者もいたことから、一定の効果はあるものとみております。
3	認可保育所等の余裕スペースを活用した放課後児童健全育成事業について、該当の保育所等には打診してるのか?その反応はどれくらいあったのか?	区内にある認可保育所等には、本年1月の私立園長会において本事業について説明するとともに、アンケートを実施し、事業に関する意見や公募に向けた意向調査を実施いたしました。集計結果からは、本事業の意義や期待される効果に関して賛同する意見を数多くいただき、事業実施を希望・検討する園があることが確認できました。
4	認可保育所等の余裕スペースを活用した放課後児童健全育成事業の実施は、とても良い取り組みだと思います。子どもにとっても親にとっても小学校入学後も引き続き同じ場所に預けられる安心感は計り知れないと思います。	子どもの視点から考えると、保育園卒園と同時に小学校入学と学童クラブ入会という大きな環境の変化に置かれる1年生がスムーズに学齢期へ移行する橋渡しの期間があった方がよい児童も少なからずいらっしゃるものと認識しております。区としても、放課後の居場所の一つの選択肢として、児童が安心して過ごせる場を確保することは、大きな意義があると考えております。
5	3(2)の取り組みについてはとても良い方策と思います。 合わせて保育士の賃金体系や人員確保についても、該当部署と提携して進めていければ大変良いと思います。	保育園での就労と放課後児童クラブでの就労では、国や都の補助体系が大きく異なるため、同じ施設内に働いたとしても、事業の位置づけが変わってしまうため、職員間に賃金格差が発生してしまうことは懸念としてあげられます。また、福祉人材は全般的に確保が困難な状況であり、どこも大きな課題を抱えています。子ども・若者部は保育・放課後児童クラブの両方を所管する組織であるため、連携を図りながら本事業を実施してまいります。

6	<p>今後の取り組みの方向性について</p> <p>応募要件の拡大から認可保育所等の余裕スペース活用で、認可保育所に学童の受け入れをお願いするようですが、自分のところの小さい子どもの保育もある上に、学童の受け入れは、実際問題可能なのでしょうか？</p> <p>例えば、その保育所の卒業生なら、その児童の性格を把握されていると思うので考えられますが。。</p>	<p>本事業の実施にあたっては、あくまで認可保育所の保育室以外の余裕スペースを活用し、人員も放課後児童クラブのための職員を確保して実施するものとなり、その運営費に関しては区から補助金を交付することになります。</p> <p>設置場所や施設環境面などから、全ての保育所で本事業の実施が可能ということにはなりません、大規模化した小学校の付近かつ施設で余裕スペースがあり、受入が可能な園に手をあげていただきたいと考えております。</p> <p>また、本事業は新BOPの大規模化等の解消に向けた取り組みとしても実施していくため、受入の選考過程において卒園児のみを対象とすることはできませんが、実際に応募してくるご家庭の多くが、卒園児となるのではないかと見込んでおります。</p>
7	<p>兄弟間なら、確かにお迎えは一か所で済みますので、保護者はこの点、良いかもしれません。子どもを見るということでの質の面でも、プロなので安心です。</p>	<p>お迎え場所が増えることにより、働き方を一部変更しなければならないご家庭があることも承知しており、そういった面では保護者支援にもつながるものと考えております。</p>
8	<p>ただ保育士不足であると思えますし、認可保育所の負担が重いように読みとれました。</p>	<p>私立認可保育園へのアンケート結果からも、人材の確保を課題とあげる事業者が多くいらっしゃいました。あくまで最優先すべきは主たる事業である保育園の運営であり、保育の質が低下するようなことにならないように、事業者の審査を行う予定です。様々な課題を乗り越えて、放課後児童健全育成事業が実施できる事業者に積極的にご応募いただきたいと考えております。</p>
9	<p>まだ開所していないので、質問はありませんが、認可保育所の余裕スペースの活用はどのような効果がうまれるのか興味深く、楽しみです。</p>	<p>区といたしましても、令和7年4月からの実施園における運営状況を確認し、好事例等を共有しながら今後の事業の展開を図ってまいりたいと考えております。</p>
10	<p>共働きが増えて利用児童が増えて来ていると思います。民営との協力も必要だと思う。</p>	<p>ご指摘のとおり共働き世帯の増加により、登録児童数の増加傾向が未だに続いております。しかし、いずれは少子化による児童数の減少に伴う減少傾向の局面が来ることも想定する必要もあるかと考えています。来年度4月から開所する民設民営放課後児童クラブに加え、認可保育所等の活用など、民間事業者の協力のもと、今後の少子化なども見据えた事業計画を検討してまいります。</p>

**(5) その他**

1	<p>一年間ありがとうございました。他の委員と比べて知識も乏しく適切な意見が出来なかったこと申し訳なく感じています。今後も子ども達の為に活発な意見交換のもと、より良い環境が整う事を願っています。</p>
2	<p>このような活動が少子化問題に向けても対策できればと思います。子育て世帯への訴求をきちんとしていくべきと考えます。</p>
3	<p>利用者の利便性が向上していることを確認しました。質問・意見特にありません。</p>